

# アンインストールガイド

## 1. はじめに

本書は、Generative AI FW のシステム構築者、運用管理者のための説明書です。

アンインストール手順について解説しています。導入される前に、必ずお読みください。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することは禁止します。

### 1.1. 用語定義について

用語定義については「スタートアップマニュアル（概要編）」をご確認ください。

## 2. 前提条件

- 本書に記載の手順は全てサーバの管理者ユーザなどの**管理者権限を持つユーザで行う必要**があります。一般ユーザでしかログオンできない環境の場合は以下を実行し、管理者ユーザに昇格させてください。もしくはコマンド実行時に「sudo」を付けてください。

```
1 | sudo -i
```

- 本書に記載の手順はサーバにログオンしている状態である必要があります。

**i** アプライアンスサーバの場合、ツール実行環境をアンインストールする前にGenerative AI FW をアンインストールすると、ツール実行環境が起動できなくなります。再度 Generative AI FW を構築、セットアップすると起動できるようになります。

## 3. 実施手順

### 3.1. 設定ファイルの退避

設定ファイルを退避することで、再セットアップ時にアンインストール前の設定を引継げるようになります。

引継ぎが不要の場合は本手順をスキップしてください。

1. 設定ファイル/opt/nec/genai/configを再インストール時に利用できるように退避します。

```
1 | mkdir /opt/nec/genai_bk
2 | cp -r /opt/nec/genai/config /opt/nec/genai_bk/config
```

2. 設定ファイル/etc/sysconfig/genaiはプロキシの設定、証明書の設定が定義されているため、必要に応じて退避します。

```
1 | cp /etc/sysconfig/genai /etc/sysconfig/genai_bk
```

## 3.2. 削除対象コンテナイメージの確認

初めに削除対象のOSSのコンテナイメージに問題ないか確認します。

1. /opt/nec/genai/uninstallに移動します。

```
1 | cd /opt/nec/genai/uninstall
```

2. アンインストールのスクリプトを実行します。

```
1 | bash uninstall.sh
```

3. 削除対象のコンテナイメージ一覧が表示されます。以下のように表示されます。

**i** IMAGE\_IDの値やREPOSITORY:TAGの数値に関しては以下の画面と一致しない場合がありますが問題ありません。

```
[root@vm-pp-test-rhel94-001 uninstall]# bash uninstall.sh
The OSS container images that will be deleted by uninstallation are as follows.
-----
IMAGE_ID      REPOSITORY:TAG
ff6fdd3b151a  docker.io/mongodb/mongodb-community-server:7.0.26-ubuntu2204
7b299ef9457e  docker.io/keycloak/keycloak:26.4.6
05c1acb89ae4  docker.io/library/postgres:16.11
0a108f718956  quay.io/coreos/etcd:v3.6.6
936afbde0cee  docker.io/elastic/elasticsearch:8.19.7
a2ec74d4bccb  docker.io/library/nginx:1.29.3-alpine-slim
0a9bce260e22  docker.io/apache/apisix:3.14.1-debian
5068c8d73dbd  docker.io/vllm/vllm-openai:v0.8.5.post1
-----
Are you sure you want to uninstall Generative AI FW? [y/N]:|
```

3. REPOSITORY:TAGに表示されているコンテナイメージを削除して問題ないか確認してください。

- i**
- ・ REPOSITORY:TAGに記載があるコンテナイメージを同一サーバに同居する別製品が使っていた場合、影響を受ける可能性があります。ただし問題があるのは以下の**全ての条件を満たす場合のみ**になります。基本的には削除して問題ありません。
    - ・ Generative AI FWサーバにPodmanを使用するソフトウェアを同居させている場合（詳細は同居しているソフトウェアの動作環境をご確認ください）。
    - ・ 使用しているコンテナイメージのバージョンがリビジョン番号含めて完全に一致している場合（バージョンの詳細は同居しているソフトウェアの動作環境をご確認ください）
    - ・ インターネット通信が不可能な環境（閉域環境など）で使用している場合（インターネット通信が可能な場合は、誤って削除された場合でも次回起動時に新たにコンテナイメージを取得するため問題ありません）、もしくは使用しているコンテナイメージのバージョンが古過ぎてDocker Hubに存在しない場合（コンテナイメージが存在するかはDocker Hubにて確認してください）
  - ・ 上記のすべての条件に合致した場合、OSSのコンテナイメージを削除することは推奨しておりません。後述の「OSSコンテナイメージを削除しない場合」に進んでください。それ以外は「OSSコンテナイメージを削除する場合」に進んでください。

- ・削除対象のコンテナイメージ一覧は後述の「OSSコンテナイメージを個別に削除する場合」で使用することがあります。「OSSコンテナイメージを削除しない場合」の手順を実施する場合は表示された情報を保存しておくことを推奨します。

5. 以下の確認には必ず「n」を入力して一度アンインストールを中止します。

```
1 | Are you sure you want to uninstall Generative AI FW? [y/N]
```

### 3.3. アンインストールの実行

#### 3.3.1. OSSコンテナイメージを削除する場合

削除対象のコンテナイメージを全て削除してアンインストールを行います。以下の手順を実施してください。

1. アンインストールのスクリプトを実行します。

```
1 | bash uninstall.sh
```

2. 削除対象のコンテナイメージが再度表示されます。問題ないことを確認のうえ「y」を入力してアンインストールを実行してください。

```
1 | Are you sure you want to uninstall Generative AI FW? [y/N]
```

3. アンインストールが正常に完了すると、以下メッセージが表示されます。

```
1 | Uninstallation is complete.
```

#### 3.3.2. OSSコンテナイメージを削除しない場合

OSSのコンテナイメージを残して、アンインストールを行います。以下の手順を実施してください。

- ❗ 本手順ではOSSコンテナイメージを削除しないため、ディスクにデータが残ります。データは残りますがコンテナ自身は起動していないため、意図せずOSSが動作することはありません。

1. 必ず「--skip-uninstall-oss」オプションを指定してアンインストールを実行します。

```
1 | bash uninstall.sh --skip-uninstall-oss
```

2. 削除対象のコンテナイメージが再度表示されます。「y」を入力してアンインストールを実行してください。

```
1 | Are you sure you want to uninstall Generative AI FW? [y/N]
```

3. オプションを指定した場合、ターミナルに以下メッセージが表示されます。

```
1 | Container image deletion was skipped.
```

4. アンインストールが正常に完了すると、以下メッセージが表示されます。

```
1 | Uninstallation is complete.
```

5. OSSコンテナイメージをどうしても削除したい場合のみ、次の「OSSコンテナイメージを個別に削除する場合」を実施してください。ディスクに残してもよい場合は実施不要です。

### 3.3.2.1. OSSコンテナイメージを個別に削除する場合

OSSのコンテナイメージを個別に削除する手順は以下の通りです。

- ❗ 本手順は削除してよいOSSが明確であり、コンテナイメージのデータをディスクから削除したい場合のみ実施してください。明確でない場合は、同居する別製品への影響を考慮し、削除せず残すことを推奨いたします。
- ❗ OSSコンテナイメージが他の製品で使用されていないか確認する明確な手段はございません。削除する場合は、お客様の判断で実施してください。

1. 前述の「削除対象コンテナイメージの確認」で保存した一覧情報のうち削除したいコンテナイメージのREPOSITORY:TAG列の値で以下を実行します。

```
1 | podman images <REPOSITORY:TAG列の値>
```

実行結果例は以下の通りです。指定したREPOSITORY:TAGのコンテナイメージが存在するか確認します。

```
1 | REPOSITORY          TAG          IMAGE ID      CREATED      SIZE
2 | docker.io/mongodb/mongodb-community-server 7.0.20-ubuntu2204 10009356e87d 44 hours ago 1.25 GB
```

2. 削除して問題ない場合は**REPOSITORY:TAGの値**を使って以下を実行し削除してください。

```
1 | podman rmi <REPOSITORY:TAG列の値>
```

実行例は以下の通りです。

```
1 | podman rmi docker.io/mongodb/mongodb-community-server:7.0.20-ubuntu2204
```

- ❗ 削除対象のコンテナイメージを利用するコンテナが存在している場合コンテナイメージは削除できません。Generative AI FWで使用しているコンテナはアンインストール時に削除されています。削除できない場合は指定が誤っているか別の製品で使用している可能性があります。

## 3.4. アンインストールスクリプト実行後

アンインストールが正常に完了しているか確認します。

1. /etc/systemd/system/genai.serviceが存在しないことを確認します。

```
1 | ls /etc/systemd/system
```

2. /etc/sysconfig/genaiが存在しないことを確認します。

```
1 | ls /etc/sysconfig
```

3. コンテナイメージが全て削除されていることを確認します。アンインストールスクリプトを再度実行します。

```
1 | bash uninstall.sh
```

4. 以下のように見出しのみが表示されることを確認します。

**i** OSSコンテナイメージを削除しなかった場合は削除しなかったコンテナイメージが表示されます。

```
1 | CONTAINER_ID IMAGE NAMES
```

5. 以下の確認には**必ず「n」**を入力してアンインストールを中止します。

```
1 | Are you sure you want to uninstall Generative AI FW? [y/N]
```

6. インストールフォルダ(/opt/nec/genai)を削除します。

```
1 | rm -rf /opt/nec/genai
```

**i** Generative AI FW構築時に以下のソフトウェアをインストールした場合、他から利用されている可能性があるためアンインストールしていません。不要な場合は手動でアンインストールを行ってください。

- podman-compose
- python3-dotenv
- nvidia-container-toolkit
- fluentd

**i** アンインストールスクリプトで削除されなかったソフトウェアが不要な場合、以下のコマンドでアンインストールできます。コマンド実行により依存関係がある未使用パッケージも同時に削除されます。表示されるメッセージを確認し、問題がなければ「y」を入力してアンインストールを行ってください。

- sudo dnf remove podman-compose
- sudo dnf remove python3-dotenv
- sudo dnf remove nvidia-container-toolkit
- sudo dnf remove fluent-package